



◇ 岐阜県高校生英語プレゼンテーション大会について

日時：平成30年11月17日(土)

会場：岐阜県総合教育センター 参加者：4名(2年生)

内容：県内の高等学校の生徒たちが、それぞれ3～5人程度のグループを組み、課題研究、地域貢献など各校で力を入れて取り組んでいる話題や日常の中での感動や気づきについて、英語で発表・質疑応答をし、英語の流暢さ、発表のわかりやすさ、内容の濃さ等で競い合う大会です。7分程度のプレゼンテーションが行われた後に質疑応答の時間が設けられる構成で、英語でのやりとりが活発に行われました。今年は第3回大会ということで、パワーポイント等をとても有効に使って、明快でわかりやすいプレゼンテーションが増えました。

◇ 昨年度SGH発表会クラス代表からの道のり

2年1組緑川颯介君、2年4組高木晴渡君、2年4組福地海都君、2年6組椿勤壱君が本校から参加しました。この4名は、昨年度のSGH課題研究において、「新・杉原千畝ルート」について研究しました。残念ながらクラス代表にはなれなかったものの、とても優れた内容であったため、今回英語版を作成し、パワーポイントや発表原稿に改良を加え、途中に寸劇も導入して挑みました。

発表内容は以下のとおりです。

題目：「インバウンドを中濃地区へ」(A Way to Promote Inbound Tourism to Chuno Area)

1. 「命のビザ」で有名な岐阜県出身の外交官杉原千畝について
2. 既存の「杉原千畝ルート」について
2. 「新・杉原千畝ルート」と各観光地の特徴
4. 各観光地への提案とまとめ

昨年深く研究した内容であったために生徒たちはいつも通り自信をもって臨むことができ、プレゼンテーションをやり遂げた大きな達成感と充実感を得ることができました。また他校の発表から学ぶことが多く、来年へのさらなる改善のポイントと飛躍のためのヒントを得ることができました。4人には今回の経験を今後の様々な場面で生かしてほしいものです。

